

科目名称	読解と表現の基礎	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期		17
担当教員	光宗 宏和	授業に関わる 実務経験	□有( ) ■無	

## 【1】 授業概要

現代の日本語で書かれた文章に接することで日本語による理解力を身につける。  
鑑賞文、批評文を書くことを通して、自分の考えを日本語によってまとめる力を養う。  
他人の意見、文章を聞くことで、自他の違い、多様性を認識する。

## 【2】 学習目標

1. 慣用句、敬語など社会人として身に付けなくてはならない言語能力を養う。
2. 文学作品の読解を通して、他者への理解を涵養し、自己の内面を見つめる。
3. 評論の読解を通して、社会と自己の関係、社会のあり方などを考える。
4. 自分の考え、自己の内面を文章にきちんと表現できる力を養う。
5. 同級生の作品の発表を聞き、自分の考え方との違いを認識する。

## 【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
  - 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
  - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
  - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
- 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
  - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
- 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
  - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

## 【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	作品の読みの多様性 I	講義
2	社会的問題の理解 I	課題・まとめ
3	作品の読みの多様性 II	鑑賞・感想文・発表
4	社会的問題の理解 II	課題・まとめ
5	医療従事者として理解し考えておくこと	意見文・まとめ
6	現代詩から「生きる意味」を考える	感想・批評
7	文学作品かの中の類義語	調査・レポート
8	文語から口語へと推移する日本語	講義
9	試験・まとめ	

## 【5】 評価方法

1. 毎時間、提出した記述課題を平常点とし、筆記試験の点数と合わせて評価します。

## 【6】 教科書

なし。全てプリントで実施します。

## 【7】 参考書

随時、授業中に紹介します。

## 【8】 受講生へのメッセージ

前もってプリントを配布しますから、授業の前にプリントに目を通しておくこと。  
各時間の最後に出された記述課題は必ず提出すること。